

# 松戸版 SDGs 事例集



2025 年 3 月

まつど地域活躍塾つながりの会

松戸市 総合政策部 政策推進課 SDGs 推進担当室

松戸市のみなさまへ

この度、松戸市の市民社会における持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）の取り組みをまとめた事例集をご紹介します。

本事例集は、松戸市内の SDGs 達成に向けて実践している取り組みについて、2023 年 9 月にウェブで一般から応募された内容をまとめたものです。

目的は、松戸市内の企業や団体等の SDGs 達成に向けた取り組み事例を紹介することで、市全体における SDGs の見える化を進め、SDGs の普及・啓発を促進することです。

松戸市は、2022 年 5 月に日本政府内閣府の SDGs 未来都市として選定されており、地域社会の持続可能な発展に向けたさまざまな取り組みが行われています。

この事例集では、松戸市の団体や企業が実践している SDGs の具体的な活動を紹介し、市民の皆様がその取り組みを知り、共に SDGs を推進していくための一助となることを期待しています。

SDGs は地球規模での持続可能な未来を目指す国際的な枠組みであり、私たちの地域でもその実現に向けた取り組みが進んでいます。

地域の多様な事例を通じて、松戸市全体での持続可能性の向上に貢献することを目指しています。

これを契機に、さらなる連携と協力を深め、持続可能な社会の実現に向けてともに歩んでいきましょう。

2025 年 3 月

まつど地域活躍塾つながりの会

松戸市 総合政策部 政策推進課 SDGs 推進担当室

# 目 次

|                                            | 頁  |
|--------------------------------------------|----|
| 松戸版 SDGs 取り組み事例の紹介                         | 1  |
| (1) あおぞら保険サービス株式会社                         | 2  |
| (2) 認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会                | 4  |
| (3) 一般社団法人銀座環境会議                           | 6  |
| (4) 循環する暮らしを愉しむ会                           | 8  |
| (5) 株式会社新松戸造園                              | 10 |
| (6) 松戸里やま応援団七喜の会                           | 12 |
| (7) まつどゼロウェイスト                             | 14 |
| (8) まつど地域活躍塾つながりの会                         | 16 |
| (9) TOKIWADAIRA YOUTH!                     | 18 |
| (10) MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel | 20 |
| (11) 六高台二丁目町会                              | 22 |
| (12) 小金原みんなでわくわくする会                        | 24 |

# **松戸版 SDGs 取り組み事例の紹介**

## (1) あおぞら保険サービス株式会社

### ◆企業情報◆

|          |                                                                 |
|----------|-----------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | あおぞら保険サービス株式会社                                                  |
| SDGs 担当者 | 中村 善信                                                           |
| メールアドレス  | info@aozorahoken2011.co.jp                                      |
| ホームページ   | <a href="https://aozorahoken.com/">https://aozorahoken.com/</a> |



### ◆企業概要◆

あおぞら保険サービス株式会社は、保険会社から委託を受けて保険募集を行う生命保険募集人・損害保険代理店です。

保険を通じて地域社会の安心安全並びに持続可能な社会の実現に向けた活動を行い、生活インフラの一翼を担うことで地域社会に貢献します。



## ◆企業の SDGs に関する取り組み◆

「まちの安全指数を高めよう！」

### ① ドライブレコーダーを活用した防犯ボランティア活動

ドライブレコーダーを搭載した車両を所有する企業の皆さまが防犯ボランティア活動を行います。

当団体より警察署からの情報提供依頼を、参加企業さまに対してメール配信及びSNS配信いたします。

該当する可能性のあるドライブレコーダー映像を持つ参加企業さまより管轄の警察署へ情報提供を行います。

### ② 交通事故の過失割合から学ぶ安全運転セミナーの開催

教習所でも警察でも教えてくれない安全運転セミナーを行います。  
常にお客さまの事故対応を行っている保険代理店目線で、事故の事例を紹介しながら、過失割合について解説させていただきます。

運転中に、、、、

「今の場面で事故を起こしたら過失割合〇〇：〇〇くらいだよなあ～」

「ここで減速すれば事故を起こしても過失割合が〇〇%減るよなあ～」

と思いながら運転することで事故の未然防止につながります。

### ③ 防災、減災に対しての様々なメニュー提案

- ・ 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援。  
千葉県と連動したセミナーの開催及び個別支援を行っております。
- ・ 中小企業の為の簡易的なBCPと位置づけられる「事業継続力強化計画認定」の支援。

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

地域社会の安心安全につながる活動を行っております。交通事故の未然防止や、自然災害発生時の被害を最小限に抑える為のサポートを行ってはおりますが、自発的な市民の皆さま個人の対策がなにより不可欠です。

交通事故の未然防止活動、並びに防災減災活動に是非ともご協力をお願いいたします。

## (2) 認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会

### ◆団体情報◆

|          |                                                                           |
|----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | 認定 NPO 法人<br>外国人の子どものための勉強会                                               |
| SDGs 担当者 | 海老名 みさ子                                                                   |
| メールアドレス  | gaikokukodomo@msn.com                                                     |
| ホームページ   | <a href="https://www.esco-matsudo.org/">https://www.esco-matsudo.org/</a> |



### ◆団体概要◆

#### 「外国人の子どもたちに学びのサポートを」

認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会は、外国からやってきて地域の学校に入学した子ども達を対象に、日本語習得や学習の支援を行なっている団体です。松戸市内に 3 カ所 6 教室を展開しています（2025 年 3 月現在）。主な活動は、定例勉強会・集中勉強会・交流会です。スタッフは日本語教育に関心をもつ子どもが好きなボランティアで、資金は会費と活動に賛同する支援者の寄付でまかなわれています。地域の外国人との「かけはし」となるべく国や自治体との協働事業に注力し、市民への啓発活動にも取り組んでいます。



## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

「真の自立を目指した教育と国境のない地域社会を」

外国人のお子さんは、親の都合で来日している子がほとんどで、言葉がわからないまま日本の地域の学校に入学するため、学校の勉強や集団生活についていくのが困難です。そんなお子さん達が少しでも学校生活や勉強が楽しいと思い、色々なスキルを身につけ、自信を持って人生を歩んでもらえるように、私たちは学校以外の場所で子どもの学習や見守りなどの支援を行なっています。

また地域における外国人に対する差別や無理解をなくしていきたいと、講演会の開催やお祭りへの参加、広くボランティアを募集したりして啓発にも努めています。国が違えば文化や考え方が違うため、それを活かしながら外国で暮らすということはとても難しいことですが、言葉だけでなく、人と人とのふれあいの中でも相互理解は生まれ深めることができます。

私たちの活動が、将来を担う子どもたちの成長を支え、日本人も外国人もともに「住み続けられるまち」になる一助となればと思います。

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

来日する外国人の中には様々な事情がある人がたくさんいます。そしてこれからも日本に来る外国人は増えると言われています。コミュニケーションと相互理解を深めることで、人種や言葉の壁を越え、誰もが住みやすい生活の場を共に作っていきましょう。



### (3) 一般社団法人 銀座環境会議

#### ◆団体情報◆

|          |                                                                                   |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | 一般社団法人 銀座環境会議                                                                     |
| SDGs 担当者 | 平野 将人                                                                             |
| メールアドレス  | mhirano@ginzakankyokaigi.net                                                      |
| ホームページ   | <a href="https://www.ginzakankyokaigi.net/">https://www.ginzakankyokaigi.net/</a> |



#### ◆団体概要◆

#### 「都市住民が作る循環型社会」

銀座環境会議は、都市住民の暮らしを変革し、持続可能で循環型の社会をつくることを目的に設立された市民による一般社団法人です。自然由来のエネルギーや資源を大量生産・大量消費するライフスタイルを継続することは不可能です。循環型のライフスタイルの実現には、地産地消やモノの貸し借り、カーシェアリングなどの共同所有といった行動が必要になるでしょう。銀座環境会議は、持続可能な循環型の社会づくりを通して、より多様な人々が交流し、参加する、楽しい街づくりを目指します。



## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

「環境活動を通じて、様々な社会課題にアプローチ」

環境保全活動を通じて、様々な社会課題（＝様々な SDGs 目標）にアプローチしています。市民がお金を出し合って設置する、太陽光による市民発電所の活動においては、障害のある人の施設や社会的養護の子ども・若者が暮らす施設を設置場所としており、全額あるいは一部寄付による設置をすることで、施設の運営を側面支援しています。

中小企業の省エネを促進する経産省の補助事業である「省エネお助け隊」の事務局も担っていますが、やはり老人福祉施設や障害のある人の施設に積極的にアプローチし、省エネを通じた側面支援を行っています。

また、設置作業自体にも子どもたちを中心に市民が参加し、体験機会を提供しています。同様に、児童養護施設の子どもたちへの環境教育や彼らとの海浜清掃といった体験機会提供（体験格差解消）に努めています。

その他、2030SDGs ゲームというカードゲームを使用した SDGs セミナーを開催し、SDGs そのものの普及にも努めています。

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

度数の高いサワー類から撤退した酒造メーカー、競合他社と共同配送を始めた食品会社、受刑者のさん付けを始めた刑務所、お互いを傷つけないよう意識し始めた夫婦...やめる、改めることでも SDGs 実現に貢献できます。是非チャレンジを！



#### (4) 循環する暮らしを愉しむ会

##### ◆団体情報◆

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 企業・団体名   | 循環する暮らしを愉しむ会                |
| SDGs 担当者 | 小林 美紀                       |
| SNS      | Instagram : matsudo_compost |



##### ◆団体概要◆

「循環する暮らしをはじめてみませんか？」

日本では、食やモノを大切にしてきた文化があります。そんな昔からあった知恵を現代風にアレンジし、無理なく楽しみながら持続可能な社会の実現をめざす会です。スローライフやエシカルが好きな方、SDGs を達成するために何かしたい方々と、松戸市を中心に流山市、柏市など東葛地域で活動しています。「循環」という視点で周りを見渡せば、地域には素晴らしい資源がいっぱい。アップサイクルのクラフトワークショップ、コンポスト講座、映画会、読書会などなど、一緒にエコフレンドリーな活動を楽しみましょう。



## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

### 「持続可能な食循環を地域につくる」

当会は、日本に昔からある知恵を新しい形でアレンジし温故知新を楽しみながら、持続可能な循環社会実現を目指しています。

その1つがコンポストを用いた持続可能な食循環です。コンポストは食の生産者と消費者をつなぐツールとして有効です。消費者が出す「生ごみ」を堆肥という「資源」に変え、地域の畑などで利用されることにより地産地消を促します。また油などの処理もできるので水の環境も守ります。

→SDGs 目標 2, 14, 15

堆肥は畑での利用の他にも、地域内の花壇に用いたり、耕作放棄地に散布するだけでも CO2 削減に貢献します。また生ごみを焼却処分せず堆肥化することで多くの CO2 削減ができます。落ち葉堆肥の普及。

→SDGs 目標 12, 13

また防災面でも、大規模災害時の排出物対策としてコンポストは大変注目されています。

→SDGs 目標 11

さらに、一閑貼りやシーグラスなど温故知新なアップサイクルも楽しめます。映画会、読書会なども開催し、多方面から SDGs について学ぶ機会を提供します。

→SDGs 目標 12, 17

子どもたちへの環境教育の推進、エディブルスクールヤード普及

→SDGs 目標 4

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

ちょっと視点を変えるだけで、身の回りのものはゴミではなく素晴らしい資源となります。モノを大切にしたい先人たちの知恵を学びながら、今日からできることを無理なく楽しく一緒にやってみませんか？



## (5) 株式会社 新松戸造園

### ◆企業情報◆

|          |                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | 株式会社 新松戸造園                                                                      |
| SDGs 担当者 | 土屋 絵里                                                                           |
| メールアドレス  | etsuchiya@shinmatsudo-zouen.com                                                 |
| SNS      | <a href="https://linkbio.co/5122001KRff4H">https://linkbio.co/5122001KRff4H</a> |



### ◆企業概要◆

株式会社新松戸造園は、松戸市にある造園会社です。「地域に密着し、人と自然が調和した持続可能な街づくりに貢献したい」を経営理念に掲げ、SDGs 推進に取り組む他企業や地域団体、学校等と連携し、持続可能な街づくりの貢献に努めています。（防災公園等の施工、緑地の維持管理、災害復旧、二十世紀梨里帰りプロジェクト、クリーン活動、小中高大学への出張授業等）



## ◆企業の SDGs に関する取り組み◆

### 「新松戸造園オリジナル SDGs マップ」

自社版 SDGs マップを作成し、今まで取り組んできたことを見える化して、自社ならではの取り組みを展開していくことに努めています。

高過ぎる目標設定をせず、無理なく継続的に取り組めることを把握し、会社に SDGs を根づかせることが目的です。

2020 年 10 月 厚生労働省えるぼし認定（認定段階 3）を取得

2021 年 6 月 松戸市民向け SDGs 普及啓発推進事業に参加

2021 年 7 月 ISO9001 認証を取得

2021 年 10 月 自社版 SDGs マップを作成

松戸市民向け SDGs 普及啓発推進事業

2021 年 11 月 ちば SDGs セミナー公演（千葉銀行・ちばぎん総合研究所主催）

2022 年 1 月 男女共同参画推進事業所表彰 奨励賞受賞

2022 年 2 月 ちば SDGs パートナー登録

2023 年 2 月 SDGs カードゲーム実践（社員研修）

2023 年 9 月 まつど SDGs キャラバンメンバーシップ制度登録

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

地域に密着し、人と自然が調和した持続可能な街づくりに貢献できるよう、これからも尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。



防災公園の施工



二十世紀梨里帰りプロジェクト

## (6) 松戸里やま応援団七喜の会

### ◆団体情報◆

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 企業・団体名   | 松戸里やま応援団 七喜の会        |
| SDGs 担当者 | 山下 烈                 |
| メールアドレス  | t-y44410@jcom.zaq.jp |



### ◆団体概要◆

#### 「松戸に残る希少な樹林地を未来につなぐ保全活動」

- ・ 都市化著しい松戸に残る小さな私有樹林地の保全を目的として活動する松戸里やま応援団と松戸市が主催する「里やまボランティア入門講座」受講生により発足。松戸市みどりの市民憲章の主旨に則り 14 年間に亘り活動している。
- ・ 市川市との境にある谷津の北側台地に残る起伏のある約 1ha の雑木林で、延宝 4 年(1676)の石祠が祀られ、「森を守っていききたい」とする所有者の思いを大切に保全している。
- ・ 2014 年森地権者が所有する休耕農地を借り受け、森保全と並行して農園活動をスタート。近隣の保育園児や市民との収穫体験交流を図っている。
- ・ 松戸里やま応援団では毎年 5 月、市内 18 ヶ所の樹林地でオープンフォレストを開催し市民の方々に公開、みどりの中で鳥や虫などに触れ合い、クラフト作りや、ハンモック・竹馬など森の魅力を感じて頂いている。



自然体験～初冬の木漏れ日の中で近隣保育園との交流



道具の使い方・伐採作業の安全など安全講習会の実施

## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

「みどりを守るー樹林地保全」が果たす住みよい環境  
地球が温暖化により疲弊して久しい。国連の事務総長にして今や「地球沸騰化」の様相にあると指摘している。産業革命以来の経済成長は二酸化炭素排出を続け地球規模で環境悪化を齎している。樹林地は温暖化の主たる要因である二酸化炭素を吸収し浄化する最も効果的な場所で概略次の環境改善効果が期待できる。

- ・ 樹林の土壌による保水と浄化で河川や海などの海洋汚染を防止する
- ・ 樹林による二酸化炭素の吸収と浄化による温室効果ガスを軽減する
- ・ 樹林は循環型天然資源として有効活用できる
- ・ 生物多様性の損失防止と陸の砂漠化をまもる
- ・ 生活の身近にある樹林地は癒しと安らぎを与え健康に寄与する
- ・ 市民や子どもたちが自然環境の大切さと森の面白さを体験できる

以上の基本理念を元に、枯れ木危険木などの伐採、適正な間伐、林床を覆う根笹などの除去、投棄ゴミの回収などの活動を実施。農園では「みどりを育てる活動」「収穫物を通じた市民交流」として有機農法を採り入れ土壌の汚染防止と環境保全を図っている。防草シートの利用制限・マイボトルの携行など活動によるゴミ(副産物)の削減を図っている。

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

春は新緑、夏は木立を流れる涼風、秋は色づく葉、冬は木漏れ日～草花や虫、鳥の囀りなど森は一年を通して季節ごとに様々な表情を見せてくれる。忙しい日常の中で癒しと安らぎを与えてくれる都市部の小さな森。いま松戸市の民有樹林地は市域の 1.6% (2020 年)と僅かとなっている。SDGs では「持続可能な目標」として 17 のテーマを掲げているが、樹林地は人が健康で豊かな生活をおくるための根源的な場所。放置された樹林地はやがて所有者のみでの保持が難しくなり壊され宅地化されていきます。樹林地保全は SDGs が掲げる地球の温暖化防止に貢献できる場所です。生活の身近にある樹林地(里やま)保全活動は誰でもが取り組める SDGs 普及活動です。

## (7) まつどゼロウェイスト

### ◆団体情報◆

|          |                                                                                                                                                                                   |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | まつどゼロウェイスト                                                                                                                                                                        |
| SDGs 担当者 | 佐藤 誠                                                                                                                                                                              |
| メールアドレス  | cz66749@gmail.com                                                                                                                                                                 |
| SNS      | <a href="https://instagram.com/matsudo.zerowaste?utm_source=qr&amp;igshid=MThINWY1MzQwNA==">https://instagram.com/matsudo.zerowaste?utm_source=qr&amp;igshid=MThINWY1MzQwNA==</a> |



### ◆団体概要◆

持続可能な循環型社会を目指すために生活の中で出てしまうゴミを無くす活動をしています。

生ゴミ堆肥化、ゴミ拾い、分別紙芝居、リサイクル品回収、環境映画上映、廃棄物処理施設見学、環境保護関連情報 SNS 提供などを行っています。



#### ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

まつどゼロウェイストでは市内の環境団体と連携し、大きなイベント時にはごみが出ないように呼びかけも行っています。

中高大学生のボランティアの受け入れをしてごみ拾いをしたり、ゴミの分別紙芝居を乳幼児から小学生を対象にやって小さな頃から、環境に負担をかけない心を育む取り組みをしています。

河川敷や公園の清掃で海や陸が汚染されるのを防ぐ活動をしています。

#### ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

普段の生活の中で無理なく出来る事を少しずつ広げていく事で続けていける仕組みを一緒に考えながらやりましょう。



## (8) まつど地域活躍塾つながりの会

### ◆団体情報◆

|          |                                                                                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | まつど地域活躍塾つながりの会                                                                                                |
| SDGs 担当者 | 佐藤 秀樹                                                                                                         |
| メールアドレス  | SDGs 推進チーム<br>sdgsmatsudo@gmail.com                                                                           |
| SNS      | <a href="https://www.facebook.com/matsudo.tsunagarinokai">https://www.facebook.com/matsudo.tsunagarinokai</a> |



### ◆団体概要◆

まつど地域活躍塾（以下、つながりの会）は、松戸市が主催する「まつど地域活躍塾」の修了生有志で結成された市民団体です(松戸市市民活動団体登録済)。会員の地域での活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的としています。現在の主な活動は、下記の通りです。

①会合の開催

②SDGs(持続可能開発目標)の松戸市民向け普及啓発活動の実践



## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

### 「松戸市民向け SDGs 普及啓発活動」

これまで、つながりの会としての松戸市民向け SDGs 普及啓発活動の主な実践内容は、下記の通りです。

- ① 2019 年 10 月: 2019 年度松戸市消費生活展(松戸市主催)に「2030 へ、SDGs をみんなで！」テーマでパネル展示参加。
- ② 2020 年 8 月～10 月:「松戸市民向け SDGs 基礎講座」開催(当会自主開催)
- ③ 2021 年 4 月～2022 年 3 月:松戸市内 13 の市民活動団体・企業とネットワークを形成し「松戸市民向け SDGs 普及啓発事業(松戸市市民活動助成)」
- ④ 2022 年 4 月～2023 年 3 月「松戸市民向け SDGs 普及啓発促進事業(松戸市市民活動助成)」
- ⑤ 2023 年 4 月～2025 年 3 月「まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業」(松戸市協働事業提案制度)

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

市民社会の視点で SDGs の普及啓発やその学習する機会を継続的に提供していきたいと思っています。松戸市にて SDGs による地域づくりを一緒に進めていきましょう！



## (9) TOKIWADAIRA YOUTH!

### ◆団体情報◆

|          |                                                                                                                                                             |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | TOKIWADAIRA YOUTH!                                                                                                                                          |
| SDGs 担当者 | 株式会社 ミライノラボ                                                                                                                                                 |
| SNS      | X : @tokiwadairayouth<br>Instagram : @tokiwadairayouth<br>note : まつど SDGs (公式)<br><a href="https://matsudo-city.note.jp/">https://matsudo-city.note.jp/</a> |



### ◆団体概要◆

Z世代が常盤平団地で運営！地域に開かれたコミュニティハブを目指す

「TOKIWADAIRA YOUTH!」

「まつど SDGs フォーラム」で「自然の中で多世代の交流拠点があるまち常盤平」という理想が挙げられ、その実現のために学生団体「TOKIWADAIRA YOUTH!」の設立を実行しました。

コンセプトは「あつまるつながる場所づくり」。

自分達の居場所づくりはもちろん、常盤平団地で活動する団体の方々と協働する中で、活動に参加する方々と共に常盤平団地への愛着を深めていくことで、常盤平団地をさらに盛り上げていきたいという思いが込められています。

## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

「TOKIWADAIRA YOUTH!」の主な活動はアクションプランの実現で、

- ・ 地域に開かれたミーティング「Meetup」
- ・ 「TOKIWALK」の地域サポーター
- ・ 共創イベントの企画、運営の3つがあります。

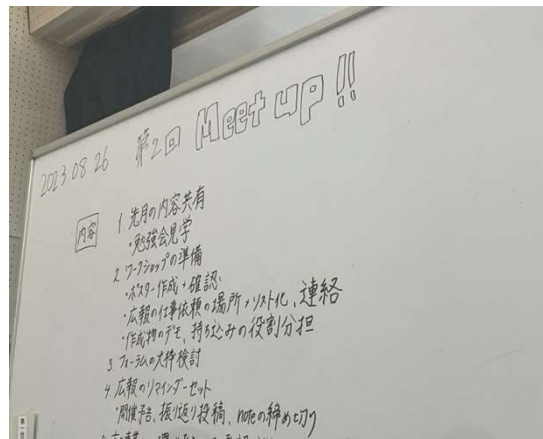
Meetup の目的は、常盤平団地に若者が集まる機会を作り、若者がいる景色をつくること。常盤平団地の魅力や課題について、自分たちの視点で発見し、それに対してどのようなことが出来るのか、まずは学生同士でディスカッションしようという思いから始まりました。

また、地域の人々の健康増進を目的として設置された団地付近のウェルネストラック「TOKIWALK」の利用促進に向けて、私たちもイベントなどの協力をさせていただきます。

共創イベントでは、これまで古着を活用したオリジナルフラッグづくりや常盤平を紹介する横断幕の制作、クリスマスイルミネーションイベントなどを行い、集まった参加者の交流を深める活動をおこなってきました。

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

若者なりの視点で「SDGs×まちづくり」楽しみ、発信していきたいと思っています。また、常盤平団地で一緒にプロジェクトを盛り上げてくれる若者を増やしていきたいと思います！



## (10) MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel

### ◆団体情報◆

|          |                                                                     |
|----------|---------------------------------------------------------------------|
| 企業・団体名   | MAISON IZARRA Oyatsu labo<br>* T naturel<br>(メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル)  |
| SDGs 担当者 | 笠井 智子                                                               |
| メールアドレス  | tomoko.ksi@icloud.com                                               |
| ホームページ   | <a href="http://izarra.chagasi.com/">http://izarra.chagasi.com/</a> |



### ◆団体概要◆

#### 「MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel (メゾン イザラおやつラボ\*テ ナチュレル)」

料理教室を通じて『手作りの楽しさと、食の大切さ』を伝える活動と、社会の根っこである家族の絆になるきっかけづくりを行います。

父と子のお菓子づくり体験教室(令和5年度松戸市協働事業)では、料理講習として父親と子どもと一緒に料理をする機会を提供し、あわせて、父親としての家庭参画、家事や子育てについて考えました。



### ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

父と子のお菓子づくり体験教室:年 4 回開催（うち 2 回は卵不使用メニュー）料理講習として父親と子どもと一緒に料理をする機会を提供し、あわせて、父親としての家庭参画、家事や子育てについて考えます。

### ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

自分で作って、食べられる分だけ取り分ける。作る過程で塩分・糖分・油分などの使用量を可視化できるので過剰摂取の予防につながり、廃棄食材も減らすことができます。ひとりひとりが、主体的に食卓に関わることで、キッチンから世界を変える。Cooking for well-being♥



## (11) 六高台二丁目町会



### ◆団体情報◆

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 企業・団体名   | 六高台二丁目町会            |
| SDGs 担当者 | 佐藤 孝逸               |
| メールアドレス  | satok8368@gmail.com |

### ◆団体概要◆

六高台二丁目町会は、町会会員相互扶助の精神に基づき、会員相互の親睦と生活環境の整備を図り、明朗な街の発展と会員福祉の向上に寄与することを目的としています。現在の活動は下記のとおりです。

- ① 毎月の会議
- ② 各種行事の開催（盆踊り、敬老事業、美化運動、防犯・防災活動、親睦旅行等）
- ③ SDGs(持続可能な開発目標)-11（住み続けられまちづくりを)の町会会員向け啓発活動の実践



#### ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

「町内で詐欺被害を防ぎ、快適に住み続けられる街づくりをめざして」  
松戸市内で電話 de 詐欺被害等の件数及び被害額が多いことから、町会では毎月の会議の中で、電話 de 詐欺や契約問題、悪質商法等の被害対策に関する啓発を行っている。千葉県消費生活サポーターが毎月、直近の消費者被害・発生件数及びその対策等に関する内容を4件程度に絞って取りまとめ、A4判の用紙に整理した資料（配布物）を使って、具体的に被害内容についての説明を行っている。

また、その資料は町内で随時回覧している。これらの事によって町内の住民は、消費者被害の内容等を知ることができるので、自己防衛の一端に寄与できる。

さらに今後は、町内で発生した被害内容及び被害額を集約・整理してそれを定期的に関示して、町内での被害対策に役立てることを検討している。

#### ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

SDGs の取り組みの一端を多くの町会や自治会に提供することによって、少しでも消費者被害等が少なくなることに繋がり、安全・安心な地域づくりに貢献していきたい。



## (12) 小金原みんなでわくわくする会

### ◆団体情報◆

|          |                  |
|----------|------------------|
| 企業・団体名   | 小金原みんなでわくわくする会   |
| SDGs 担当者 | 船橋 登             |
| メールアドレス  | nobifuna@aol.com |



### ◆団体概要◆

「SDGs 活動を通して、四世代のきずなで、小金原地区に豊かな生活環境を実現する団体」

当会は、四世代が、明るく健康で安全・豊かな生活ができる災害に強い居住環境を実現するため、従来からの地域活動を SDGs 活動の一環として整理・進化させ、世代相互の協力体制による「ありがとう！」のまちづくりを目指している。

小金原地区の SWOT(強み弱み)分析を行い、その結果から下記の4テーマに絞って具体的活動を策定中である；

①グリス口の活性化(SDGs 3,7,11)、②高齢者支援(同 3,11)、③落ち葉の堆肥活用(同 7,11,15)、④小金原三丁目会館の活用化(同 3,4,11)

また、四世代の交流を図るため、根木内小学校体育館を借りて、地元の音楽グループによる演奏会を開催した(同 3,5,11)



## ◆団体の SDGs に関する取り組み◆

SDGs の目標を念頭に 4 項目を設定して具体的な活動計画を策定中であるが、夫々の項目の主な活動内容は下記の通りである。

- ① グリスロ；体験乗車と町会イベントでの活用を通して、広く周知する。
- ② 高齢者支援；エンディングノート勉強会の開催。
- ③ 堆肥活用；公園他の落ち葉回収とコンポスト設置による堆肥化や、できた堆肥で、公園やごみ箱に花のプランターを設置して、街を明るくする。
- ④ 町会館活用；町会在住の埋もれた特技の持ち主を登録して、サロン会を企画（生け花、花の育て方、郷土歴史、パソコン・携帯の使い方等）する。また、夏休み子供宿題相談会（工作、作文、学科等）を開催する。

## ◆市民への SDGs に関するメッセージ◆

松戸市も高齢化が進んでおり、“高齢者に頼る町会活動”では、現在の町内・地域活動すら維持できなくなる可能性がある。そのため、これら町会活動を SDGs 活動の一環として全世代相互の協力体制による“ありがとう！”のまちづくりを目指しましょう。



**第5回SDGs活動  
—SDGsまちづくり—**

江戸川大学 佐藤秀樹先生による勉強・活動会を開催

前回、SWOT分析により三丁目の良いところ、悪いところについて、各項目を整理し、小金原をさらに住みやすくするための具体的なアクションとして、4項目に絞りました：  
① グリスロの活性化 ② 高齢者対策 ③ 生ごみの堆肥化 ④ 町会館の活用

今回は、この4項目について、皆様にどこかのグループに入って頂き、アクション計画を作成していただきたいです。

年度始めですので、前回までのおさらいをして進めますので、前回出なかった方、小中高生・大学生も歓迎！！ あなたのアイデアをお待ちしています！！

受講者にはSDGsバッジ進呈

1. 日時：2023年 5月21日（日）13:30～15:30  
2. 場所：小金原三丁目会館

**小金原みんなでわくわくする会**  
連絡先：松戸市小金原3丁目4-5 小金原会館内 Tel:343-4816

問い合わせ

まつど地域活躍塾つながりの会 SDGs 推進チーム

担当: 佐藤 秀樹

Email: [sdgsmatsudo@gmail.com](mailto:sdgsmatsudo@gmail.com)